

倫理 第6回「ギリシャ思想③ アリストテレスとヘレニズム思想」

○今回のポイント

アリストテレスは現実主義の立場からポリスを重視したが、ポリス崩壊によりコスモポリタニズムと個人主義の時代になった。

2 編 1 章⑤現実主義的なあり方—アリストテレス (教科書 p.32～)

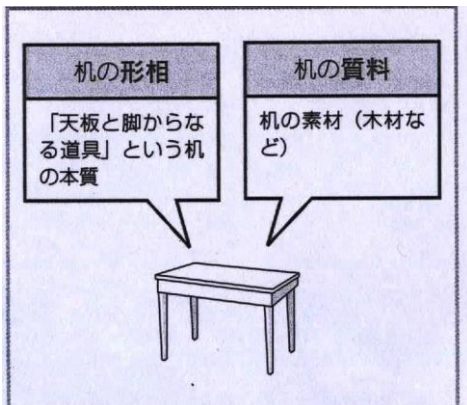
イデア論批判 形相と質料

・ [① アリストテレス] のイデア論批判

→プラトンの立場では事物の本質(イデア)は個物を超越しているが、アリストテレスの立場では事物の本質は個物に内在している。

↓

・アリストテレスは形相(エイδος)と質料(ヒュレー)で、真の实在を証明しようとする。



- ・ [② 形相] …事物に内在し、それが「何であるか」を規定する本質。
- ・ [③ 質料] …素材という意味。個物が何であるかを規定するエイδοςと結合して個物を作る。

最高善と観想的生活

・幸福＝あらゆる人間の最終目標＝理性の活動を完成すること＝最高善

・人間の生活

- a. 享樂的生活…快樂の善
 - b. 政治的生活…名譽の善
 - c. [④ 観想的] 生活…知恵の善
- ◎もっとも望ましい「最善なるもの(理性)がそれに固有な徳を備えている活動」 ※観想…真理を純粹に考察すること。

知性的徳と倫理的徳

- 魂
- ・理性的な領域 → [⑤ 知性的徳] …観想的生活に即した徳 (例: 知恵、思慮、努力)
 - ・感情、欲望の領域 → [⑥ 倫理的徳] …過度と不足の両極端を避ける [⑦ 中庸] を選んで習得する習性的徳。

☆アリストテレスは数多の倫理的の中から正義と友愛を重視!

「⑧ 人間は本性上、ポリ斯的動物である」…ポリスを離れて人間の生活は成り立たない!

※共同生活を理性で結びつける原理が正義であり、情意で結びつける原理が [⑨ 友愛] である。

正義

- [⑩ 全体的正義] …すべての市民がポリスの法を守ること
- [⑪ 部分的正義] …状況に応じた正義。公正をいかにして実現するか。
 - ・ [⑫ 配分的正義] …個人の地位・能力・功績に応じて報酬や名譽を配分
 - ・ [⑬ 調整的正義] …利害得失の不均衡を調整する

2編 1章 6 幸福をめぐる問いーヘレニズムの思想

ヘレニズム時代

(1) [14] ヘレニズム]とは何か

マケドニアのフィッリポス 2 世のギリシャ全土の統一&アレクサンドロスによる東方遠征



ヘレニズム文化…ギリシャ文明と東方(オリエント)文明の融合により 普遍的性格を帯びた文化。

(2)コスモポリタニズムと個人主義の二面性

ポリスの生活では公的生活と私的生活が一致していたが、ポリスの崩壊により広大な世界国家の一員として生きるようになる。そのため、人間はすべて世界市民として同胞であり平等であるという [15] コスモポリタニズム]と、ポリスという拠り所を失ったことにより幸福を個人的・内面的な自由と平安に求める [16] 個人主義]の二面性が生まれた。

禁欲主義 ストア学派

(1)ストア学派の特徴

- ・ [17] ゼノン]が創始
- ・ [18] 禁欲主義]…欲望、恐怖、怒りなどの情念(パトス)に動かされることのない自由な境地([19] アパテイア])を追求。
- ・ 宇宙に対するロゴスの支配 ⇒ 「[20] 自然に従って生きよ」

(2)古代ローマにおける様々なストア派の人々

- ・ キケロ…自然法思想を展開。カエサルの政敵。ギリシア思想とストア学派を折衷した思想。
- ・ セネカ…理性を重視。ネロ帝の家庭教師・政治顧問。「人生の短さ」や「心の平静」について論じる。
- ・ エピクテトス…神への崇敬と恭順を説く。神の摂理に任せ運命に服従、精神的自由な生活を送るべきと説く。
- ・ [21] マルクス=アウレリウス=アントニヌス]…『自省録』。万物が変化流動し、業績も名誉も記憶も全てが忘却される無常な時の流れの中で、与えられた運命を愛し、自己の義務を果たす所に生きる道を見出した。

快楽主義 エピクロス学派

(1)エピクロス学派の特徴

- ・ エピクロスが創始
- ・ [22] 快楽主義]…肉体的な快楽ではなく、魂の平安([23] アタラクシア])を追求
⇒政治・社会から距離を置く「[24] 隠れて生きよ」

(2)エピクロス学派の死生観 ～[25] 原子論的唯物論]～

死を経験した者はいない。死がどのようなものかは誰にも分からない。そんなものを心配しても仕方ない。



死んだら原子の集まりに過ぎない人間はチリのように離散してしまう。死を考えることなどできない。



死はアトム(原子)の離散に過ぎない



死を恐れるな!